

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みんなで笑顔「木のおうち2っ！」児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 2 月 14 日		～ 令和 8 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 14 日		～ 令和 8 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 4 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの意見を取り入れたプログラムを実施している。	プログラムについて子どもたちの意見を聞く機会を設けている(調理活動のメニューや、外出・外食体験の行き先、やりたい活動など)。	やりたいことが見つけれられるよう、経験の機会を増やしていく。また、新しいことにもチャレンジできるよう、見通しの持てる選択肢の提示を行なう。
2	研修機会を積極的に設けている。	事業所内職員による勉強会、外部講師を招いての研修やコンサルテーションを行なっている。	研修による学びを事業所内で共有し、チームによる支援の向上につなげていく。
3	PDCA サイクルに、広く職員が参画している。	子どもの個別支援計画策定、日々の支援、業務改善などにおいて、正規職員・非正規職員ともに話し合いに参加し、計画・実行・振り返り・再実行を行なっている。	話し合ったことをもとにした、ツールの作成や環境整備に取り組む時間が足りない。合理化できる業務は合理化するなどして、時間確保に務める。また、事業所評価を基にした業務改善にも、広く職員に参画してもらおう。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりが弱い。	地域のお店へのお買いものや近所の方との交流の機会は作ることができたが、どことつながれば地域とのつながりを広げられるかを把握できていない。また、不慣れな状況や環境への過敏さをもつ子どもたちも多く、その特性に配慮した機会をつくるのが難しい。	津幡町社会福祉協議会等に問い合わせ、子どもたちの実情に合わせた交流が可能な機会を探っていきたい。
2	ご家族対象のプログラムがない。	ご家族対象のプログラムを企画するための余力がない。	まずは、ご家族のニーズを確かめる機会をつくりたい。また、他事業所での取り組みからも学んで、実施につなげたい。
3	各種マニュアルの周知ができていない。	情報量が多く、ご家族に説明する時間をとることが難しい。	ホームページ等に掲載するなど、ご家族の都合に合わせて確認していただける環境を整えることを検討したい。また、要点についてはおたよりの配布などで周知をはかっていきたい。